

2011年度 平田野中学校研修方針

1 研究主題および領域

2011年度研究主題 基礎学力を身につけるための学習体験の構築
～「聞く力・話す力の育成」を目指して～

主な領域 全教科

2008年度研究主題 確かな学力を身に付けた生徒の育成
～「できる、わかる、支え合う授業づくり」を目指して～

2009年度研究主題 確かな学力を身に付けた生徒の育成
～「できた、わかったと言える」授業作りを目指して～

2010年度研究主題 基礎学力を身につけるための学習体験の構築

2 主題設定の理由

新学習指導要領が来年度から実施される。改訂の基本方針として、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力の育成とともに、主体的に学ぶ態度の育成が重要である。その際、生徒の発達段階を考慮し、生徒の言語活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、生徒の学習習慣が確立するよう配慮しなければならないとされている。新学習指導要領がめざす「生きる力」のある子ども像は、「確かな学力」を持った子どもであり、その基盤となるのは、基礎的・基本的な知識・技能の確実なる習得・活用である。そこから自ら学び、考える、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力の伸長につなげていきたいと考える。

本校の生徒は全体的に素朴でのんびりとしており、人なつっこい性格の生徒が多い。勉強を頑張ろうと思っている生徒もたくさんおり、この数年のC R Tの結果では、全国平均を超える教科もあり、徐々に成果が出てきている。しかし、授業に落ち着いた態度で取り組めない生徒や与えられた課題ができない生徒が、まだまだいる状況である。昨年度の本校の研修のまとめからも、「聞き取る力が弱い」、「自己表現ができない」、「家庭学習の習慣がない生徒が多い」、「授業に対して受動的」などが課題として出てきた。

そこで、本年度も昨年度に引き続き、「基礎学力を身につけるための学習体験の構築」を研究主題として設定し、本校生徒に不足している基礎学力の定着を目指したい。その中でも特に「聞く力・話す力の育成」に焦点を絞って研修を進めて行く。「勉強が苦手な生徒に対してのわかりやすい授業づくり」の研究、補充学習の時間を設定して普段の授業だけでは勉強についていけない生徒に対してのサポート、「ひらたの～と」を使っての家庭学習の習慣化の三つを柱として、確かな基礎学力を生徒に身につけさせたいと考える。

3 本年度の研究のねらい

(1) 子どもにつけたい力

- ・基礎的・基本的な知識及び技能の習得と活用する力
- ・話の内容を正しく聞き取る力と自分の思いを伝える力の育成
- ・学習への興味関心を持ち、落ちついた姿勢で前向きに学習に取り組む姿勢
- ・わからないところをそのままにせず、解決しようとする姿勢
- ・家庭学習を継続的に取り組む姿勢

(2) 研究の重点

- ・聞く力・話す力を伸ばすための授業研究を進める。
- ・生徒が興味と関心を持って学習に取り組む姿勢を作る。
- ・定期テスト前に補充学習を行い、生徒のサポートを行う。
- ・必達目標を設定し、それを検証することで授業改善を図る。

4 具体的な取り組み

(1) 教師の授業力の向上

- ・教科ごとに評価規準と評価基準の設定、見直し
- ・シラバスの作成
- ・必達目標の設定と検証
- ・授業見学
- ・教材研究、授業研究（教科部会ごとに代表1名）
- ・教科部会の充実

(2) 生徒集団の育成

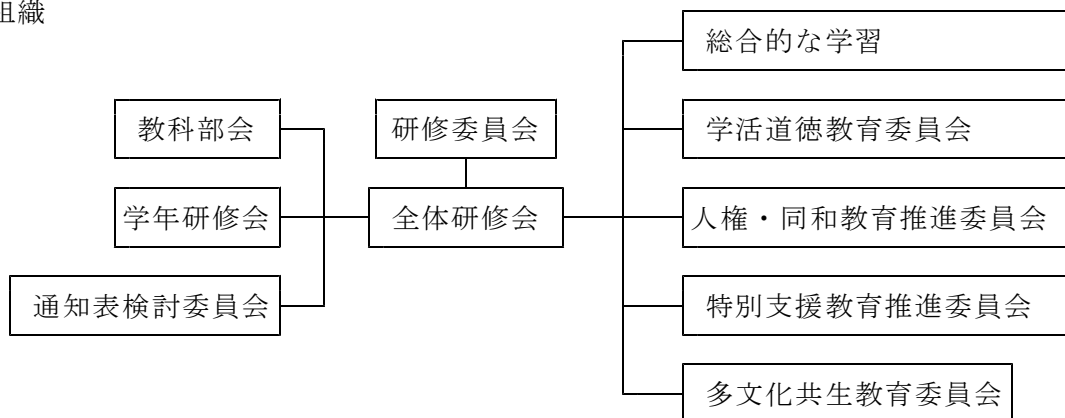
- ・家庭学習を習慣化するための工夫→ひらたの～との活用の工夫
- ・C R Tの分析
- ・定期テスト前の学習支援
- ・人権教育の継続

- ・キャリア教育の実施
- ・系統的、体系的な人権学習、進路学習（「道徳」「学活」「総合」の時間を活用）

(3) 家庭への働きかけ

- ・「ひらたの〜と」の活用
- ・「家庭学習のすすめ」の活用
- ・評価規準、年間指導計画の配布
- ・学校通信、学年通信、ホームページの活用
- ・定期テスト個票の活用

5 研修組織



6 年間計画

| 日時 | 校内研修会の内容 | |
|------------------------------|----------------------------|---|
| 第1回 (4月20日) | 全体研修会 | 今年度研修の方向性の確認、シラバスについて |
| | 教科部会 | 聞く力・話す力育成のための手だて |
| | 授業見学 | 同一教科内で授業見学・教科でまとめ作成（4～5月） |
| 第2回 (4月27日) | 全体研修会 | 努力目標説明会の環流学習会、必達目標について、「ひらたの〜と」の利用実態について |
| | 教科部会 | シラバスの作成 |
| | 授業見学 | 同一教科内で授業見学、教科でまとめ作成（4～5月） |
| 第3回 (6月1日) (7月13日) | 全体研修会 | 生徒指導研修 |
| | 教科部会 | 「効果的な補充授業のあり方について」情報交換、必達目標の分析・結果の交流、評価について |
| | 授業見学 | 「聞く力・話す力の育成」（公開授業第1グループ） |
| | 全体研修会 | 一学期のまとめ |
| 第5回 (8月23日) (午後) | 全体研修会 | キャリア教育研修会 |
| | 教科部会 | 指導案検討 |
| 第6回 (9月7日) | ●第一回研究授業「聞く力と話す力の育成」と事後検討会 | |
| | 授業見学 | 「聞く力話す力の育成」第1グループ |
| 第7回 (10月6日) | 全体研修会 | 人権研修会 |
| | 教科部会 | 必達目標の分析結果の交流・前期のまとめ |
| | 授業見学 | 「聞く力・話す力」の育成（公開授業第2グループ） |

| | | |
|-----------------|----------------------------|--------------------------|
| 第8回 (11月2日) | ●第二回研究授業「聞く力・話す力の育成」と事後検討会 | |
| | 授業見学 | 「聞く力と話す力の育成」第2グループ |
| 第9回 (12月12日) | 全体研修会 | 研究発表会の環流報告会 |
| 第10回 (1月16日) | 全体研修会 | 家庭学習の習慣化に向けて ひらたの～とについて |
| | 教科部会 | 後期のまとめ |
| | 授業見学 | 「聞く力と話す力の育成」(公開授業第3グループ) |
| 第11回 (2月8日) | 全体研修会 | 1年間のまとめ |
| 第12回 (3月9日) | 全体研修会 | 来年度に向けて |

研修委員会

1 平成21年度 課題

- ・基礎的・基本的な知識及び技能が定着していない生徒へのわかりやすい授業づくり
- ・勉強に興味関心がない生徒への魅力的な授業づくり
- ・落ち着いて授業にのぞむための授業規律・マナーの確立

2 平成22年度

目標1（中期的重点目標）

- ・基礎学力を身につけるための学習体験の構築

目標2（今年度の努力目標）

- ・二極化の解消にむけて、授業研究を進める。
- ・「ひらたの〜と」を使って、家庭学習の習慣化に取り組む。
- ・定期テスト前に補充学習を行い、生徒のサポートを行う。
- ・必達目標を設定し、それを検証することで授業改善を図る。

具体的活動・取組（方策）

- ・年3回の授業研究と全職員の授業見学に取り組む。
- ・シラバスを生徒に配布し、学習への取り組み方を説明する。
- ・必達目標を設定し、生徒の到達度を検証したり、CRTを分析をしたりして、授業改善に取り組む。
- ・系統的、体系的な人権学習、進路学習を行う。
（「道徳」「学活」「総合」の時間を活用）
- ・学習支援が必要な生徒のために、定期テスト前に補充学習の時間を設定する。

評価指標

- ・全教員が学習指導案を作成し、研究授業に参加して、研鑽を深める。
- ・評価規準・基準、シラバス、年間指導計画を作成し、それに基づいてすすめる。
- ・CRTの分析をもとに方策を立てて指導する。
- ・必達目標を設定し、到達度を検証する。
- ・テスト前の補充学習を行う。